

新型コロナウイルス感染症に関する記載について

新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、様々な社会変化が予測される。第4次計画は、令和12年度までの10か年計画であるため、今後10年を見据え、ポストコロナの社会状況を踏まえた生涯学習の在り方や施策、取り組みについて改めて整理・検討する。

【新型コロナウイルスの内容の反映箇所】

反映箇所は以下の①～③を予定し、状況に合わせて記載内容の調整を行う。

① 第3章 施策の展開の個別施策を記載

② 資料 近年の社会状況と多摩市の状況

「(8) ウィズコロナ・アフターコロナによる暮らしの変化」を追記

※新たな項目を追加してコロナの現状を記載

③ 資料 多摩市の生涯学習をめぐる課題まとめ

上記②の現状に合わせた課題の挿入

【反映内容】

新型コロナウイルスの状況と社会変化、その変化に伴い、本計画に記載する推進すべき項目と課題

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による現状

| | |
|---|-------------------------------|
| ① | 各国における国境や都市封鎖、国内における不要不急の外出自粛 |
| ② | テレワークや時差出勤等の働き方の新しいスタイル |
| ③ | 活動自粛による物理的なつながりの希薄化 |

(2) 新型コロナウイルス後の社会変化

| | |
|---|---------------------------|
| ① | デジタルツールを活用した学びや仕事、つながりの拡大 |
| ② | 助け合いの気持ち（互助）の増加 |

(3) 推進すべき事項と課題

| | |
|----|--|
| 推進 | <p>時間や場所の制約を超え、自由度が増す。</p> <p>⇒ グローバル化の加速</p> <p>⇒ 不登校など配慮を要する児童・生徒にも学習の機会を提供可能</p> <p>⇒ コミュニケーションツールとしてのオンライン活用</p> |
| 課題 | <p>社会が成熟する一方、生活に格差が生じることが懸念される。格差の是正につながるサポートが必要</p> <p>⇒ 学校等の教育現場におけるオンライン整備</p> <p>⇒ デジタルツールを活用した学習提供の充実</p> <p>⇒ 新たなコミュニケーションツールの構築</p> <p>⇒ 経済的負担の軽減や休業・失業者等へのサポート</p> |